



和敬会だより

第134号

発行所
医療法人社団 和敬会
谷野呉山病院
富山市北代5200
<http://www.wakeikai.com>

発行人
理事長 谷野 亮一郎



発行日 令和3年2月26日



ごさんフェスティバルにごさんレンジャー参上！

医療法人和敬会

基本理念

「希望に満ちた人生の回復を目指して私たちはあなたと共にある」

基本方針

- ・専門職がチームで関わり、あなたの価値観を大切に医療を提供します。
 - ・常に研鑽に努め、安全で質の高い医療を提供します。
 - ・広く情報公開に努め、あなたと共に考える医療を提供します。
 - ・精神科救急体制の充実や社会資源との連携を図り、地域に根ざした医療を提供します。
 - ・環境に配慮し、地球にやさしい医療を提供します。
 - ・精神疾患に対する偏見の払拭、権利擁護に努め、あなたが自らの強みを発揮できる社会づくりを推進します。
 - ・人材育成に努め、当院に勤務する職員が自らの強みを発揮できる職場づくりを推進します。
- 私たちは基本理念を胸に抱き、健全な病院経営の下で以上の基本方針を実践します。

職員募集専用サイト
開設しました



新年のご挨拶

理事長・院長 谷野 亮一郎

昨年は、人間の絆や相互の社会的サポートを物理的に分断する未知のウイルスのパンデミック(世界的大流行)によって未曾有の災禍に見舞われた年となりました。

当法人としてはマスク着用・手指消毒の徹底はもちろんのこと

●通院患者様とその付き添いの皆様、面会に来られた皆様全員に対する検温と問診

●待合室を隣接するホールにまで拡張し、ソーシャルディスタンスを確保

●待合室の雑誌、新聞類の提供中止

●待合室の広報紙、パンフレット類は手に取ったものは持ち帰っていただく

●暑かろうが寒かろうが定期的に換気 ●一日複数回の環境消毒

●発熱や咳嗽等の症状を有する患者様は別室で待機・診察

●入院される患者様は病床が許す限り入院から一週間程度個室で過ごしていただく(差額はいただかない)

●入院患者様に対しては必要に応じてPCR・抗原検査を実施

また、通院患者様と入院患者様が接する機会を減らすこととし

●院内売店の利用制限 ●作業療法・通院患者様と入院患者様で実施場所を離す

●アルコール依存症ミーティング・通院患者様と入院患者様を分けて行う

さらに県内の感染拡大を認めた際には

●デイケアや訪問看護の件数制限 ●入院患者様への面会制限

●心理教育、家族教室の中止 ●入院患者様へ院外外出・外泊自粛のお願い

など、これまでに三十回以上の「新型コロナウイルス感染症対策委員会」を開催し、感染対策に努め、患者様および所属職員の安全を確保し、ひいては医療圏の地域医療崩壊阻止に貢献すべく尽力して参りました。当法人をご利用の患者様、ご家族のご理解とご協力に心より御礼申し上げます。

県内流行期には外来の収益が二割減りました(耳鼻咽喉科や小児科のクリニックでは七割近い減少とのこと)。そんなことより一言、コロナに言わせてください。

「精神科臨床に個人防護具は邪魔だ〜」

マスクもアイシールドもフェイスシールドもアクリル板も、私が出すオーラを抑えられてしまっているような気がします(笑)。仕方がないので目に口ほどに物を言わせるよう鍛錬中です...

先日、前述の委員会でワクチンの話題が出ました。「筋肉注射で、しかもマイナス七十℃で打つんですよ。痛そう」と発言したら、「マイナス七十℃では打ちません」と委員会のメンバーから笑われてしまいました。

よりよい明日、笑顔の多い明日になりますように。本年もよろしくお願いいたします。

谷野 医院

総曲輪デイケアセンター 文化祭

たくさん並んだ作品



令和二年十二月九日(水)に谷野医院 総曲輪デイケアセンター「第四回 文化祭」が開催されました。この文化祭はつつりワーク・クラスのメンバーが中心となって運営しています。

まずは、当院デイケアを利用しているメンバーがプログラムなどで作成した作品の展示コーナーです。ペーパークラフト・小説・刺繍作品などレベルの高い作品が沢山揃い、これらの作品から、各先生方と当日の投票による賞が選ばれ、記念品が贈呈されました。

体験コーナーでは、手作りの消しゴムハンコで年賀状・ストラップの作成をしました。今流行の『鬼滅の刃』のハンコの人気が高く、リワーク・メンバーに丁寧に教えてもらいながら皆さん真剣に作成しておられました。また、初の試みとして、バルーンアート体験や、カラーセラピーも行われ、皆さん興味津々で参加しておられました。

今年は新型コロナウイルス感染症対策として、一度に入場できる人数を制限したり飲食コーナーを中止したりしましたが、皆さんに楽しんでもらうために体験コーナーを充実させました。例年とは違う緊張感があり大変だったと思いますが、終了後はリワーク・メンバーより「与えられた仕事を、責任を持って取り組むことができた」。また、デイケア・メンバーからは「楽しかった」との感想が聞かれ、有意義な時間をすごせたことを分かち合いました。

普段のプログラムと違って、皆さんが主体的に積極的にとりくむ機会であり、復職への自信回復につながると思います。来年もまた企画したいと思っていますので皆さんご期待ください。



バルーンアートの実演

作品を観覧する理事長



看護師 川口 加奈子

【患者満足度調査の報告】 入院患者さま

令和二年七月八日～十五日にアンケートを実施しました。

百九十五名から回答を得ました。

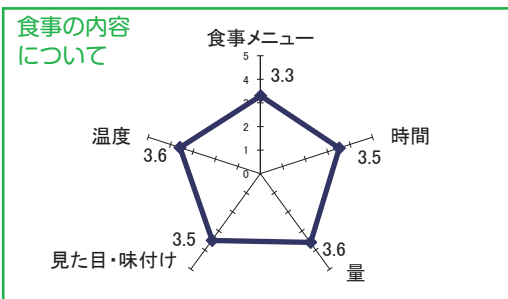
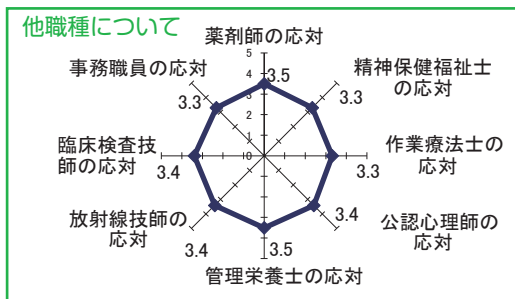
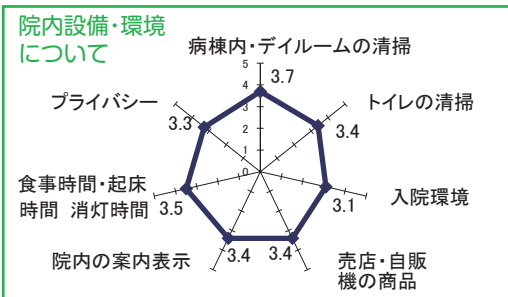
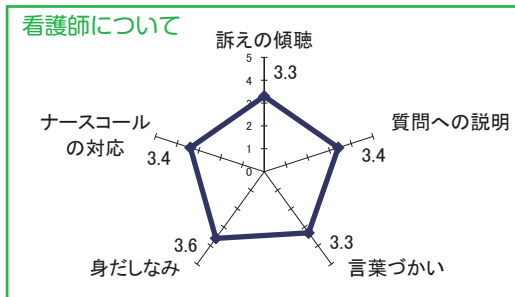
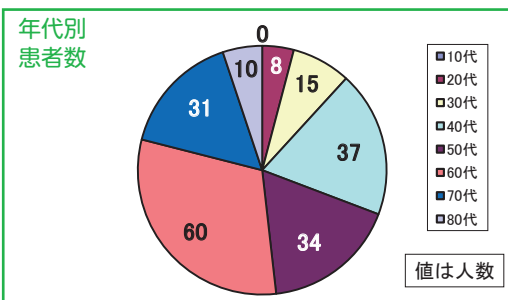
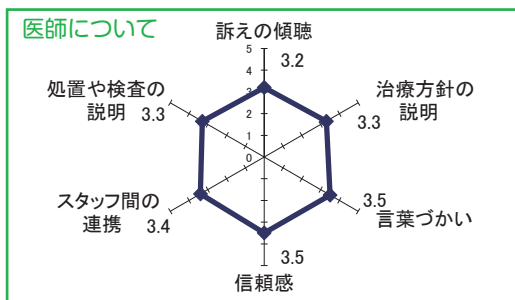
皆様から頂きました貴重なご意見を参考に、安心して満足いただける病院作りを目指し努力致します。

【患者満足度調査の報告】 外来患者さま

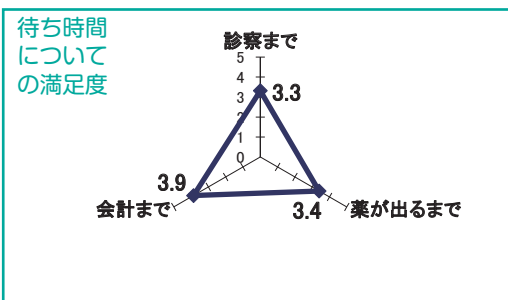
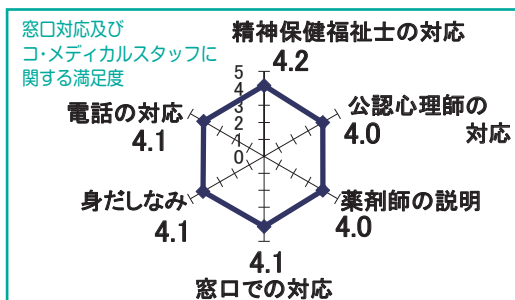
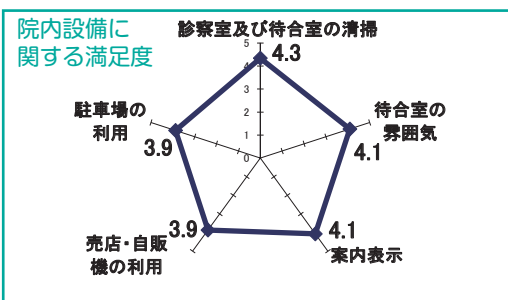
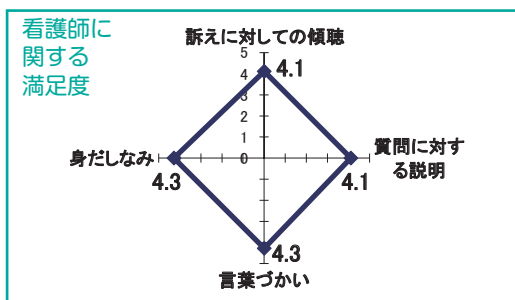
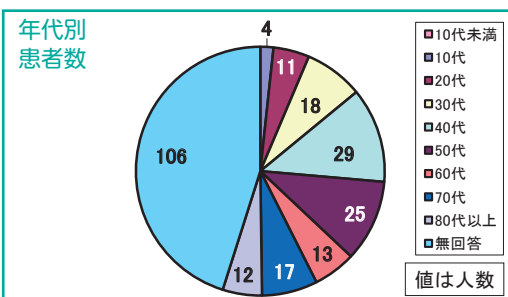
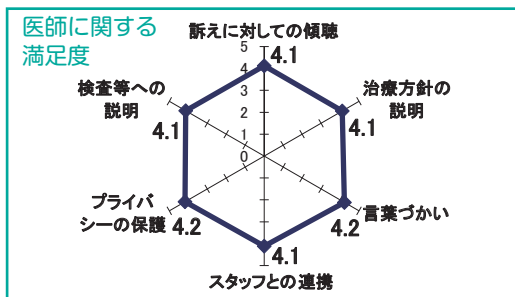
令和二年七月六日～十八日にアンケートを実施しました。

二百三十五名から回答を得ました。

皆様から頂きました貴重なご意見を参考に、安心して満足いただける病院作りを目指し努力致します。



レーダーチャートの数値は5段階評価の平均値です



レーダーチャートの数値は5段階評価の平均値です

法人の動き

10 9	月	事 項
17 9	日	
職員総会 ござんフェスティバル		

ごごさんフェスティバル 開催



抽選会に当選しガッツポーズ



病院からプレゼントされたデザートを頼張る

令和二年度は新型コロナウイルスの流行により様々な行事が自粛の流れの中で『ごごさんフェスティバル』については規模を縮小し開催することとなりました。各部署からの意見を募り委員会で話し合いを重ね、ごごさんレンジャーによる催し物、デザートの提供、抽選会という形で三密を避けての開催となりました。

病院内だけで完結できる様にしたため、近隣の方々を招待する事ができず、心苦しい場面もありました。また、新しいスタイル、試みと言つこともあり諸先輩方や役員、何より病院スタッフの協力なくしては完遂できなかったと思います。

十月十七日の当日には、各病棟の患者さまはごごさんレンジャーの熱演を見て楽しみ、大変盛り上がりました。

また、模擬店の代わりに病院からデザートをプレゼントしました。例年、フェスティバル会場に行けない患者様にもデザートを食べていただけるようになり、喜んでおられました。しかし、タイムスケジュール通りに進まないなど反省点もありました。

新型コロナウイルスによるイベントの自粛など世間の風潮がありながらも、患者さまの療養生活が豊かになる方法を模索しました。今回の様な開催の在り方が今後続くかどうかは分かりませんが、感染予防とイベント開催の両立を図る一つのモデルケースになったのではないかと感じています。

最後に職員が一丸となってイベントを盛り上げて下さったおかげで成功することができました。皆様ありがとうございました。

実行委員長 竹内 佑也

表彰

令和二年度 社団法人日本精神保健福祉連盟
会長表彰（三〇年勤続）

山越 祐人（クライシスケア病棟 准看護師）

令和二年度 富山県精神保健福祉大会会長表彰
（十五年勤続）

川田 早苗（デイケアのぞみ 精神保健福祉士）

岩城 佑輔（クライシスケア病棟 看護師）

橋本 安都（メンタルケア病棟 看護師）

中島 健一（コ・メディカル課 精神保健福祉士）

藤井千恵子（三三病棟 准看護師）

お知らせ

令和二年度院内学会は新型コロナウイルス感染症予防のため開催中止になりました。

紙面に掲載されている患者さまの写真につきましては、掲載に際して、ご本人または保護者のご了承を頂いております。

編集後記

コロナ禍による外出の自粛を持続中に、富山県でも記録的な豪雪で外出できない時間がありました。改めて災害に備えた平常時の備えの大切さを感じました。皆さまもお元氣でお過ごしください。

（樹）